

CASBEE® - 建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)堺市堺区緑町倉庫新築工事	階数	地上4F
建設地	大阪府堺市堺区緑町2丁55番、56	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	20人
地域区分		年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年9月19日
敷地面積	2,553㎡	作成者	浦野喜代司
建築面積	1,482㎡	確認日	2017年9月26日
延床面積	4,564㎡	確認者	浦野喜代司



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 0.0

機能性	N.A.
耐用性	N.A.
対応性	N.A.

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

生物環境	1.0
まちなみ	4.0
地域性	2.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

建物外皮の	N.A.
自然エネ	N.A.
設備システ	4.0
効率的	2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

水資源	3.4
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.6

地球温暖化	4.9
地域環境	2.9
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項	
総合 周辺環境を損なう事のないよう、外観デザイン・植栽配置・設備などに配慮し計画している。	その他 敷地境界は既存の塀・フェンスをそのまま利用し、解体時に発生する廃棄物を削減する。
Q1 室内環境 化学汚染物質による空気汚染を回避するため、建築材料(F☆☆☆☆)をほぼ全面的に採用し、かつ事務所エリアの換気回数は5回以上としている。	Q2 サービス性能 十分な広さの休憩室は両側に大きな窓を設け、快適な空間となるよう配慮した。
LR1 エネルギー 全ての照明器具にLEDを採用し、省エネルギー性がた高まるよう、考慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水型衛生器具を採用している。躯体と仕上材が容易に分別可能であり、再利用できるユニット部材を採用するなど、解体時におけるリサイクルを促進する対策を実施している。
	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内緑化は堺市の条例に基づく緑地面積を確保し、植栽の配置にも配慮した。
	LR3 敷地外環境 適正な駐車台数及び駐輪スペースを確保している。建築設備による排熱を考慮し、ガス設備は使用しない計画とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)堺市堺区緑町倉庫新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区緑町2丁55番、56番	1	B+
	主用途/延床面積	工場 / 4,654.40 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	5	
省エネ対策	3	
みどり・ヒートアイランド対策	1	
安全快適な暮らし	4	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減		評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	4.9	5
省エネ対策		評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコアによる評価値	建物全体	0.0	3
		住居・宿泊部分	0.0	
建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	0.0	
自然エネルギーの利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	0.0	
設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	4.0	
効率的運用(集合住宅は対象外)		CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	2.5	
水資源保護		CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	3.4	
みどり・ヒートアイランド対策		評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	1.0	1
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	1.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	2.0	
安全快適な暮らし		評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画		CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	0.0	4
耐震・免震		CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	0.0	
地域性への配慮、快適性の向上		CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	3.0	
交通負荷抑制		CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	4.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	